

平成29年度学生募集領域の研究内容等（博士後期課程/博士課程）
【一般入試(2次)、社会人・留学生特別入試】

| | 研究領域 | 主担当教員 | 研究内容 |
|---|---------|-------|---|
| 基 | 薬品製造化学 | 赤井 周司 | 1. 生物活性天然化合物の全合成 2. 酵素触媒不斉合成手法の開発 3. ベンザインの反応制御と合成化学的应用 4. 高活性ラジカル種の制御と活用を基盤とする有機合成 5. 創薬や医療に資する新規機能性分子の精密有機合成 |
| | 生物有機化学 | 小比賀 聡 | 1. 機能性人工核酸の合成研究 2. 人工核酸の核酸医薬・遺伝子診断への応用 3. 外部刺激に応答して作動する機能性人工核酸分子の創製 4. 非天然型核酸塩基の開発と最先端ポストゲノムテクノロジーへの応用 |
| | 分子合成化学 | 藤岡 弘道 | 1. 新有機反応（不斉合成を含む）および反応剤の開発とその応用 2. 活性化学種を活用する合成反応の開発 3. 生物活性天然物の全合成及び関連生物活性化合物の合成 4. 創薬を志向する複素環化合物の分子設計と精密合成 5. 環境調和型反応の開発 |
| | 天然物化学 | 小林 資正 | 1. がん分子標的治療薬および感染症治療薬探索のためのアッセイ系の構築 2. 薬用植物、底生海洋生物および海洋微生物からの新しい医療シーズの探索 3. 新規微量活性天然物の全合成研究 4. 微量活性天然物の全合成研究とアナログ合成による構造活性相関の解析 5. ケミカルバイオロジーを基盤とする活性天然物の標的分子と作用機序の解明 |
| 幹 | 高分子化学 | 大久保忠恭 | 1. NMR、X線結晶解析など分光学を用いたタンパク質の構造解析 2. 分子間相互作用などタンパク質の活性発現機構の解明 3. 遺伝子操作や化学合成による新規タンパク質の合成と活性研究 4. 構造と活性の相関の情報に基づいた合理的設計による創薬 5. ゲノムプロジェクトによるバイオインフォマティクスに基づく構造生物学 |
| | 分子反応解析学 | 宇野 公之 | 1. ヒト新規グロビンタンパク質の構造と機能、及び活性酵素との関わり 2. タンパク質工学に基づくガスキャリアタンパク質の機能改変 3. 薬物代謝酵素CYPの基質認識と酵素活性、及び一塩基多型の影響 4. CYPの基質認識に関するハイスループットスクリーニング法の開発 5. 各種分光分析法によるヘムタンパク質の酸素活性化機構の解明 |
| 分 | 分子生物学 | 水口 裕之 | 1. ヒトiPS細胞から肝臓細胞、小腸細胞等への分化制御に関する分子生物学的解析と創薬研究への応用 2. 新規遺伝子導入・発現制御技術の開発と遺伝子治療、ウイルス療法、再生医療、ワクチン等への応用 3. ノンコーディングRNA（マイクロRNA等）の機能解析と核酸医薬開発への応用 4. 生体での免疫抑制機構の解明と臨床への応用 |
| | 生命情報解析学 | 土井 健史 | 1. 転写因子とエピジェネティクスが組織特異的遺伝子発現を生み出す機構の解析 2. ES細胞、他組織細胞を血小板、血管内皮細胞へとリプログラミングする技術の開発 3. 血管内皮細胞特異的に発現するレセプターRobo4の機能解析 4. 代謝性疾患に関与する転写制御因子を標的とした創薬研究 5. 非天然型アミノ酸をタンパク質に導入することによる新規テクノロジーの開発 |
| | 細胞生理学 | 辻川 和丈 | 1. ABHファミリー分子によるRNAエピジェネティクス制御機構解析 2. 臨床癌検体を用いた癌の発症・悪性化に関わる分子の同定と機能解析 3. 革新的戦略による癌の分子標的治療薬の創成 4. 幹細胞の細胞生物学的機能解析 |
| 野 | 情報・計量薬学 | 高木 達也 | 1. 医薬学、遺伝子科学におけるデータの解析のための、データマイニング、機械学習法、システムバイオロジー手法の開発、改良、応用 2. 数理科学手法を駆使した、医薬品の化学構造と有害事象の相関に関する研究 3. 計算化学手法による、in Silico 医薬品設計と化学反応、物性の機構解明 4. 機械学習法、メタアナリシス等を用いた、医薬品のリスクマネジメント（システム）に関する計量薬学的研究 5. 環境中における化学物質・医薬品関連物質の環境運命・環境毒性に関する計量・計算化学的研究 |

※特別プロジェクト等により設置された協力講座は、設置期間が限定される場合がありますが、設置期間終了後は、所属学生の研究指導等は当該講座の世話分野（本研究科の基幹分野）に引き継がれます。

※分野の統廃合等により分野名が変更となる場合があります。

平成29年度学生募集領域の研究内容等（博士後期課程/博士課程）
【一般入試(2次)、社会人・留学生特別入試】

| | 研究領域 | 担当教員 | 研究内容 |
|---------------------------------|-------------------------------------|---|---|
| 基 幹 分 野 | 生体機能分子化学 | 八木 清仁 | 1. C型肝炎に対する新規治療法に関する研究 2. Tight junctionにおける上皮バリア形成メカニズムの解析 3. バイオ医薬品の吸収促進法に関する研究 |
| | 臨床薬効解析学 | 藤尾 慈 | 1. 心不全新規治療法の開発を目指した分子循環器学 2. 循環器領域におけるサイトカイン科学 3. カルシウムシグナリングの心筋細胞死における役割の解明 4. 腎疾患克服のための分子生物学 5. 循環器疾患、生活習慣病等における臨床薬理学 |
| | 薬剤学 | 中川 晋作 | 1. 経皮ワクチン（貼るワクチン）およびアレルギー経皮免疫療法の実用化研究 2. 経皮免疫誘導機構の解明と経皮投与型アジュバントの開発 3. Cell Delivery Systemに基づく細胞療法（CAR-T療法）の最適化と臨床展開 4. 免疫抑制機構の解明と免疫療法への応用 |
| | 医療薬学 | 上島 悦子 | 1. グローバルな視点に立った医療薬剤疫学研究 2. 抗がん剤の適正投与を目的とした研究 3. 緩和医療に適用される医薬品に関する臨床研究 4. 感染制御を目的とした抗菌剤使用適正化研究 5. 循環器疾患発症の機序解明を目的とした研究 ※薬剤師免許を取得していることが望ましい |
| | 毒性学 | 堤 康央 | 1. トキシコキネティクス・トキシコプロテオミクス等によるナノマテリアルの安全性追求 (NanoTox研究) 2. 先端バイオ医薬・ナノ医薬の安全性確保のための創薬基盤技術の開発とその展開 3. 化粧品・食品およびその含有成分の安全性評価とその手法開発 4. 種々環境因子、病原体の生殖発生毒性、免疫毒性等の発現メカニズム解析と解毒法の開発 5. 化学物質（生体異物）に対する生体の応答および防御機構の解明 |
| | 神経薬理学 | 橋本 均 | 1. 脳・神経機能調節に関する分子薬理学的研究 2. 多能性幹細胞からの神経分化の解析とその創薬研究への応用 3. ミトコンドリアの形態制御とその病態生理に関する研究 4. 精神・神経疾患の中間表現型探索を目指した、全脳細胞の定量的形態計測系の構築 |
| | 応用環境生物学 | 平田 収正 | 1. 光合成生物の環境ストレス応答反応の機能進化プロセスの解明と環境修復、環境浄化および食料増産への応用 2. 光合成生物の代謝調節機構の解析と有用物質生産への応用 3. 機器化学分析を用いた食品・生薬の品質管理法の開発 4. 光合成生物の多様な代謝能を利用した環境汚染物質の無毒化技術の開発 |
| 先進医薬学 (医療薬学専攻のみ募集) | 藤尾 慈 | 1. 医薬品の新規血中濃度測定法の開発とその応用による薬物動態の解析 2. 医薬品の代謝や排泄に関わる代謝酵素やトランスポーターの遺伝子多型の判定 3. 抗がん剤の副作用機序の解明とその対策に関する研究 4. 安心安全な医療提供のための医療従事者への職業性曝露に関する研究 5. 調剤や院内製剤の品質確保による医薬品の適正使用の推進 ※薬剤師免許を取得（取得見込み含む）していることが望ましい | |
| 協 力 ・ 連 携 分 野 | 細胞生物学 [産業科学研究所] | 西野 邦彦 | 1. 異物排出輸送体とその制御因子の構造解析 2. 異物排出輸送体の生理的役割の解明と進化学的解析 3. 脂質メディアエーター輸送体の同定と生理機能解析 4. 機能未知なオーファン輸送体の機能と疾病への関わり 5. 排出系膜輸送体をターゲットとした分子標的創薬研究 |
| | 生体分子科学分野 [産業科学研究所] | 永井 健治 | 1. 蛍光および発光蛋白質を用いた生理機能センサーの開発 2. 吸収イメージングや超解像イメージングなどの先端顕微鏡の開発 3. 高光度・多色発光性植物の創製と社会実装 4. 少数性生物学研究 |
| | 未来医療開発 [医学部附属病院] (医療薬学専攻のみ募集) | 西田 幸二 | 1. 体性幹細胞、iPS 細胞を利用した再生医療研究 2. 医薬品、再生医療製品の品質管理・規制科学に関する研究 3. 臨床試験のプロジェクトマネジメントや薬事に関する研究 4. 臨床試験の被験者保護・品質管理に関する研究 5. 生物統計に関する研究 6. その他、新規医薬品、医療機器、再生医療製品等の開発に関する研究 |
| | 遺伝子機能解析学 [微生物病研究所] | 伊川 正人 | 1. 個体レベルでの遺伝子変異技術開発（主にゲノム編集） 2. 哺乳類の受精メカニズム解明と不妊診断治療・避妊薬の開発 3. 着床・胎盤形成メカニズムの解明 4. 蛍光ライブイメージングによる受精現象の可視化 |
| | 創薬ナノデザイン学 [微生物病研究所] | 山西 弘一 | 1. 次世代型ワクチンの開発に資するワクチン抗原・アジュバントの送達キャリア開発 2. 次世代型ワクチンの開発に資する新規アジュバントの開発 3. 感染症に対する免疫防御機構の解明 4. 実用化を目指した新興・再興感染症に対するワクチン開発 |
| | 伝統医薬解析学 | <准教授> 高橋 京子 | 1. 薬用植物を活用した6次産業化とその実現のためのコンソーシアムの構築 2. 伝統薬物資源のデータベース構築と社会連携 3. 和漢薬の有効・安全性に関する科学的評価と客観化研究：メタロミタス活用とQOL評価解析 4. 実践的漢方医薬学教育支援プログラムの開発 5. 医療文化財（縮方洪庵の薬箱他）の学際的・文化財科学的研究 |

※特別プロジェクト等により設置された協力講座は、設置期間が限定される場合がありますが、設置期間終了後は、所属学生の研究指導等は当該講座の世話分野（本研究科の基幹分野）に引き継がれます。
※分野の統廃合等により分野名が変更となる場合があります。

平成29年度学生募集領域の研究内容等（博士後期課程/博士課程）
【一般入試(2次)、社会人・留学生特別入試】

| | 研究領域 | 担当教員 | 研究内容 |
|--|--|--|--|
| 協 力 ・ 連 携 分 野 | 環境病因病態学 〔府立成人病センター〕 (世話分野: 臨床薬効解析学) | 井上 正宏 (藤尾 慈) | 1. 患者検体からのがん細胞培養法の開発 2. 患者検体からのがん細胞培養を用いた薬剤感受性試験の開発 3. 患者検体からのがん細胞培養を用いたバイオマーカー・治療標的の探索 4. がん細胞の低酸素応答、特にtumor dormancy の分子機構の解明 5. 血管新生阻害による腫瘍内がん細胞の質的变化の解析 |
| | 遺伝子細胞医薬学 〔国立医薬品食品衛生研究所(NIHS)〕 (世話分野: 分子生物学) | 佐藤 陽治 (水口 裕之) | 1. 再生医療等製品やその製造基材 (ES/iPS細胞等) の特性評価法の開発 2. 再生医療等製品やその製造基材 (ES/iPS細胞等) の遺伝的安定性評価法に関する研究 3. 体細胞に由来する再生医療等製品の品質・安全評価法の開発 4. ES/iPS細胞に由来する再生医療等製品の品質・安全評価法の開発 |
| | 注 核酸医薬学 〔国立医薬品食品衛生研究所(NIHS)〕 (世話分野: 生物有機化学) | 奥田 晴宏 (小比賀 聡) | 1. 核酸医薬品の毒性に関する研究 2. 核酸医薬品のオフターゲット効果に関する研究 3. 核酸医薬品の細胞内動態に関する研究 |
| | バイオ医薬学 〔国立医薬品食品衛生研究所(NIHS)〕 (世話分野: 生命情報解析学) | 石井 明子 (土井 健史) | 1. 改変型抗体医薬品の構造と機能に関する研究 2. 抗体医薬品の薬理作用・薬物動態評価に関する研究 3. 抗体医薬品の安全性評価に関する研究 |
| | 機能性製剤学 〔国立医薬品食品衛生研究所(NIHS)〕 (世話分野: 毒性学) | 奥田 晴宏 (堤 康央) | 1. 非晶質化技術などを用いて高いエネルギー状態に誘導された製剤 (高エネルギー系製剤) の品質の一定性を支配する製剤物性の解明とその制御法に関する研究 2. 製剤物性評価に基づく高エネルギー系製剤の安定性評価法 (予測法) の開発 |
| | 化学物質等安全性評価学 〔国立医薬品食品衛生研究所(NIHS)〕 (世話分野: 毒性学) | 広瀬 明彦 (堤 康央) | 1. 食品経由の微量暴露化学物質の包括的リスク評価手法の開発に関する研究 2. 医薬品製剤中の不純物質等のリスク評価手法の開発に関する研究 3. 毒性発現パスウェイ (AOP) を利用した統合的リスク評価アプローチに関する研究 |
| | 食品安全学 〔国立医薬品食品衛生研究所(NIHS)〕 (世話分野: 毒性学) | 梶山 浩 (堤 康央) | 1. 食品中残留農薬等分析における試料調製方法の検討 2. 安定同位体標識標準品による内標準法を用いた精確な食品中残留農薬等定量法の検討 3. 食品中の残留性有機汚染物質を対象にした迅速分析法の開発と摂取量推定に関する研究 |
| | 薬食衛生微生物学 〔国立医薬品食品衛生研究所(NIHS)〕 (世話分野: 毒性学) | <准教授> 菊池 裕 (堤 康央) | 1. 医薬品製造工程を汚染する異常プリオン蛋白質検出法の開発およびプリオン病の解明に関する研究 2. バイオテクノロジー応用医薬品/生物起源由来医薬品や再生医療等製品の微生物学的安全性確保に関する研究 3. 原因不明食中毒の解明と検出法開発に関する研究 |
| | 医療機器安全学 〔国立医薬品食品衛生研究所(NIHS)〕 (世話分野: 分子反応解析学) | 龍島 由二 (宇野 公之) | 1. プロテオミクス解析を利用した医用材料の生体適合性評価に関する研究 2. RANアプタマーを利用した能動的蛋白質吸着制御表面の創成と新規材料開発 3. 生体適合性材料の機能と生物学的特性評価に関する研究 4. インプラント材料の材料特性に影響を与える生体内物質に関する研究 5. 三次元組織構築を目指した新規医用材料開発に関する研究 6. 新規医用材料開発迅速化のための生体適合性のコンピュータシミュレーション的評価法に関する研究 |
| | 「ゲノム安全学」 〔国立医薬品食品衛生研究所(NIHS)〕 (世話分野: 応用環境生物学) | 本間 正充 (平田 収正) | 1. ゲノム編集技術によるヒト変異細胞の作成と、それらを用いた安全性試験への応用 2. 生活環境中に存在する微量の発がん物質の安全性、およびリスク評価に関する研究 3. インシリコ/構造活性相関 (QSAR) による化学物質の遺伝毒性・発がん性予測に関する研究 |
| 注 医薬品医療機器評価学 〔(独) 医薬品医療機器総合機構 (PMDA)〕 (世話分野: 分子反応解析学) | 鹿野 真弓 (宇野 公之) | 1. 医薬品・医療機器等の承認審査に関連する研究 2. 医薬品・医療機器等の安全対策に関連する研究 | |

※特別プロジェクト等により設置された協力講座は、設置期間が限定される場合がありますが、設置期間終了後は、所属学生の研究指導等は当該講座の世話分野（本研究科の基幹分野）に引き継がれます。

※分野の統廃合等により分野名が変更となる場合があります。

※国立医薬品食品衛生研究所 (NIHS) に所属する分野への志願者は、分野主任より前に、川西徹所長 (kawanish@nihs.go.jp) まで受入について問い合わせること

※注 平成29年度の募集は行いません。

平成29年度学生募集領域の研究内容等（博士後期課程/博士課程）
【一般入試(2次)、社会人・留学生特別入試】

| | 研究領域 | 主担当教員 | 研究内容 |
|--|---|--|---|
| 協 力 ・ 連 携 分 野 | バイオ創薬学 [医薬基盤・健康・栄養研究所] (世話分野：毒性学) | 米田 悦啓 (堤 康央) | 1. バイオ医薬の創製・高機能化に関する研究と基盤技術開発 2. 薬物動態解析・制御・最適化に関する研究と基盤技術開発 |
| | 幹細胞制御学 [医薬基盤・健康・栄養研究所] (世話分野：分子生物学) | 川端 健二 (水口 裕之) | 1. ES・iPS細胞等を用いた再生医療・細胞性製剤のデザイン研究とその基盤技術開発 2. ES・iPS細胞等を用いた幹細胞毒性評価系など、毒性試験法の確立と創薬支援 |
| | 臨床免疫学 [医薬基盤・健康・栄養研究所] (世話分野：臨床薬効解析学) | 米田 悦啓 (藤尾 慈) | 1. シグナル伝達阻害に基づく分子標的医薬のデザイン研究とその基盤技術開発 2. 革新的な免疫療法の確立と創薬支援 |
| | ワクチン材料学 [医薬基盤・健康・栄養研究所] (世話分野：薬剤学) | 國澤 純 (中川 晋作) | 1. 粘膜免疫システムを用いたワクチンや免疫創薬のデザイン研究とその基盤技術開発 2. 腸内フローラや栄養に着目した免疫研究と創薬・機能性食品の開発研究 |
| | アジュバント学 [医薬基盤・健康・栄養研究所] (世話分野：薬剤学) | 石井 健 (中川 晋作) | 1. 安全かつ有効なワクチン用アジュバントのデザイン研究とその基盤技術開発 2. 臨床に根ざした感染症・がん等に対するワクチン療法の確立と創薬支援 |
| | 霊長類医科学 [医薬基盤・健康・栄養研究所] (世話分野：応用環境生物学) | 保富 康宏 (平田 収正) | 1. 霊長類を用いた創薬グランドデザイン研究とその基盤技術開発 2. 霊長類を用いた疾患モデルおよび前臨床試験の確立と創薬支援 |
| | 薬用植物資源学 [医薬基盤・健康・栄養研究所] (世話分野：応用環境生物学) | 川原 信夫 (平田 収正) | 1. 薬用植物資源を用いた天然薬物のデザイン研究とその基盤技術開発 2. 薬用植物由来の天然化合物及びエキスライブラリの確立と創薬支援 |
| | 創薬標的探索学 [医薬基盤・健康・栄養研究所] (世話分野：生命情報解析学) | 鎌田 春彦 (土井 健史) | 1. 創薬標的探索に向けた基盤技術の開発とその創薬への展開 2. 創薬標的に対するターゲティングのデザイン研究とその技術開発 |
| | 抗体医薬設計学 [医薬基盤・健康・栄養研究所] (世話分野：毒性学) | 永田 諭志 (堤 康央) | 1. 抗体医薬のデザイン研究とその基盤技術開発 2. 抗体医薬のスクリーニング技術の確立と創薬支援 |
| | 核酸医薬設計学 [医薬基盤・健康・栄養研究所] (世話分野：生物有機化学) | 米田 悦啓 (小比賀 聡) | 1. 核酸医薬のデザイン研究とその基盤技術開発 2. 核酸医薬のスクリーニング技術の確立と創薬支援 |
| | 核輸送動力学 [医薬基盤・健康・栄養研究所] (世話分野：生命情報解析学) | 米田 悦啓 (土井 健史) | 1. 核輸送メカニズムの解明研究を活かした核送達キャリアのデザイン研究とその基盤技術開発 2. 細胞内動態制御技術（オルガネラターゲティング）の確立と創薬支援 |
| | 創薬情報科学 [医薬基盤・健康・栄養研究所] (世話分野：生命情報解析学) | 水口 賢司 (土井 健史) | 1. 創薬標的の探索や安全性予測を目指した、大規模実験データの解析および統合データベース開発 2. タンパク質-タンパク質、タンパク質-化合物相互作用の予測と生体反応のモデル化、医薬品設計への応用 |
| | 注 分子生理病態学 [国立循環器病研究センター] (世話分野：臨床薬効解析学) | 調整中 (藤尾 慈) | 1. 心臓の発生分化の分子機構の解明 2. 循環器疾患の分子遺伝学的病態解明 |
| | 先進医療技術開発推進学 [国立循環器病研究センター] (世話分野：臨床薬効解析学) | 山本 晴子 濱崎 俊光 (藤尾 慈) | 1. 循環器疾患の最適療法の確立に向けたレギュラトリーサイエンス 2. 革新的な臨床試験デザインに関する研究とその応用 3. 医薬品の研究開発における統計的方法の研究とその応用 |
| 病態代謝学 [国立循環器病研究センター] (世話分野：生物有機化学) | 斯波 真理子 (小比賀 聡) | 1. 循環器臨床に根ざした核酸療法の検証・実用化研究とその基盤技術開発 2. 核酸療法の最適化に叶う創薬に資する循環器疾患標的の探索とその応用 | |
| 生体医工学 [国立循環器病研究センター] (世話分野：薬剤学) | 山岡 哲二 (中川 晋作) | 1. 薬物・医療機器コンビネーション製品のデザイン研究とその基盤技術開発 2. DNCS (Drug Navigated Clearance System)の開発 | |

※特別プロジェクト等により設置された協力講座は、設置期間が限定される場合がありますが、設置期間終了後は、所属学生の研究指導等は当該講座の世話分野（本研究科の基幹分野）に引き継がれます。
※分野の統廃合等により分野名が変更となる場合があります。
※注 平成29年度の募集は行いません。

平成29年度学生募集領域の研究内容等（博士後期課程/博士課程）
【一般入試(2次)、社会人・留学生特別入試】

| | 研究領域 | 主担当教員 | 研究内容 |
|--------------|--|---|--|
| 附置センタープロジェクト | 先進臨床薬理学研究プロジェクト [Pharm D教育研究ユニット] | 藤尾 慈 | 1. 薬物動態関連遺伝子の臨床ゲノム薬理学研究 2. 生活習慣病およびがんの適正治療のためのゲノム薬理学研究 |
| | 創薬プラットフォームプロジェクト [創薬基盤技術開発ユニット] | 宇野 公之 | 1. がん細胞の免疫回避を抑制する医薬品の開発 2. 細胞保護作用を持つ医薬品候補化合物の探索 3. 薬物代謝ハイスループットアッセイ系の構築 |
| | 癌ケミカルライブラリープロジェクト [創薬基盤技術開発ユニット] | 辻川 和丈 | 1. 低分子化合物を用いた癌分子標的治療薬の開発研究 2. 臨床癌検体を用いた癌分子標的治療薬の評価系構築 |
| | 注 iPS肝毒性・代謝プロジェクト [創薬基盤技術開発ユニット] | 水口 裕之 | 1. ヒトiPS細胞から肝臓細胞への高効率分化誘導法の開発 2. ヒトiPS細胞由来分化誘導肝細胞を用いた毒性評価・肝代謝評価・薬効評価系の開発 3. ヒトiPS細胞から膵臓細胞、小腸細胞等への高効率分化誘導法の開発と創薬応用に関する研究 |
| | 注 iPS脳神経毒性プロジェクト [創薬基盤技術開発ユニット] | 橋本 均 | 1. ヒトiPS細胞から神経細胞への分化誘導に関する研究 2. 精神疾患患者のiPS細胞を用いた分子病態解析と創薬応用に関する研究 3. 多能性幹細胞からのセロトニン神経への分化機構とその病態的意義の解明 |
| | 注 iPS心血管・血液毒性プロジェクト [創薬基盤技術開発ユニット] | 土井 健史 | 1. iPS細胞の作製およびiPS細胞から心筋細胞等への分化誘導に関する研究 2. iPS細胞由来心筋様組織等の組織体の薬剤に対する応答評価に関する研究 |
| | 注 iPS細胞動態プロジェクト [創薬基盤技術開発ユニット] (世話分野：分子生物学) | 大橋 一夫 (水口 裕之) | 1. iPS細胞分化過程と組織工学を融合した新規創薬基盤の開発 2. 生体内での細胞分化・脱分化過程の解明 3. 肝・膵・腎組織工学と遺伝子治療による新規治療法の開発 4. 細胞膜と血液特性の関連を軸とした癌転移過程の解明 5. 健康促進にむけた味覚・嗅覚再生の探索研究 |
| | 注 核酸医薬創成プロジェクト 核酸医薬評価科学プロジェクト 核酸医薬臨床薬事プロジェクト [創薬臨床研究推進ユニット] | 小比賀 聡 〈准教授〉 小林 直之 〈講師〉 橘 敬祐 | 1. 高機能性人工核酸を利用した核酸医療の創成 2. 核酸医薬や核酸分子の品質評価法の開発 3. 核酸医薬のリスクベネフィット評価に関する調査研究 |
| | 構造生物学プロジェクト [創薬チャレンジユニット] (世話分野：生物有機化学) | 〈准教授〉 青山 浩 (小比賀 聡) | 1. 有機化合物、核酸、膜タンパク質、超分子複合体のX線結晶構造解析と薬学領域への展開 2. 超高精度解析による生体高分子の水素原子の可視化と応用 3. 結晶学と分光学の融合による次世代生命科学研究 4. 高難度タンパク質の構造解析法の開発 5. ホモロジーモデリングによる細胞間物質輸送機構の研究 |
| 寄附講座 | 先制心身医薬学 (世話分野：生命情報解析学) | 関山 敦生 (土井 健史) | 1. 生体ホメオスタシスの破綻による疾患前駆状態形成メカニズムの解明 2. アットリスク群の選抜マーカー確立による投薬・介入対象の新規発見 3. ストレスによってうつ病など脳機能低下が形成される経路の解明 4. ヒト、モデル動物に共通する、疾患トランレショナルバイオマーカー分子群の解明 5. 臨床データに基づく精神疾患のマーカー探索のための情報解析システムの構築 |
| 共同研究講座 | 先端化粧品科学 (マンダム) (世話分野：臨床薬効解析学) | 岡田 文裕 (藤尾 慈) | 1. 再生医療技術等の先端医療技術の外用剤への応用に関する研究 2. 加齢による皮膚疾患の薬剤開発に向けた、表皮幹細胞による皮膚恒常性維持機構の解析 3. 発汗調節を行うヒト汗腺の三次元構造と汗腺幹細胞の多分化能維持機構の解明 4. 色素幹細胞、毛包幹細胞の分化制御メカニズムの解析と有効薬剤探索のための手法確立 5. 表皮の恒常性維持のための、免疫システムにおける免疫細胞の役割解明 |

※特別プロジェクト等により設置された協力講座は、設置期間が限定される場合がありますが、設置期間終了後は、所属学生の研究指導等は当該講座の世話分野（本研究科の基幹分野）に引き継がれます。
※分野の統廃合等により分野名が変更となる場合があります。
※注 平成29年度の募集は行いません。